

總守忠正、本多美作守忠相、太田采女正資宗之ヲ役ス、右ノ四輩、各裝束午ノ后刻御座ノ間ニ於テ索麴ヲ獻ジテ、酒井阿波守忠行之ヲ役ス、御熨斗出、御銚子ハ出デズ、御不豫故ナ今晩御祝ノ御膳ヲ獻ズ、酒井阿波守忠行是ヲ役ス、長務 同二日巳ノ刻御齒固ノ御餅御熨斗御雜糞出、御祝ノ御膳ヲ獻ズ、是ヲ役ス、 同三日巳ノ刻御齒固ノ御餅御熨斗御雜糞出、御祝ノ御膳ヲ獻ズ、

〔視聽草二集八〕慶長中御獻立留書

正月元日御祝之次第、但御内儀にて、初獻 勝栗熨斗、昆布御引渡、二獻 梅干、五種御雜糞、箸

手 三獻 御吸物、兎 御相伴、上總介殿、三河守殿、表御禮之次第、御禮過にて御三ツ 盃參候

て、但御前計也、諸大夫衆御ながれ被下、其上御脇被下候也、 同二日、公家衆御禮之次第、勝栗、熨

斗、昆布、御三ツ 盃、但御前計也 此御引渡公家衆へも出也、但御三ツ 盃はなし、

〔半日閑話一〕御當家御佳例、正月元日獻立、未、知、眞、偽、古、記、所、見、

御本膳 御繪さい、かい、かく、大根、御汁い、て、う、大根、田、御糞物こん、に、やく、と云、二 さい

み小付、御汁し、ほ、い、り、鳥、かも、引下 御糞物な、い、細、かに、さい、の、め、に、切、せ、う、ゆ、に、て、煮、る、こ、れ

をわりこさいにと云、御燒鳥き、じ御吸物、ひ、れ御雜糞之上、御佳例之兎之御吸物出ル、御老中、江

御雜糞、御酒、御吸物被下之、

〔簾中舊記〕御なりの事

一 正月二日は、時のくわんれいへなり候、御所さま御まやうぞくめし候て、車にめし候、上さまは御むねあけにめし候、御りきしやかき參らせ候、御さちやうなどもたれ候て、くわんれいにて御祝にて候、御女房衆車二りやうにて參候、みなく御はかまめし候て、むねのまほり御かけ候、御所さま女房たちも、やくしやばかり御供に御參り候、みなきぬども御もたせ候、一五目には、御所さまばかり畠山殿へなり候、一十日に御二所伊勢の所へなり候、上さまのなり候はねば、御